

# 9月から 保育料無償化

保育料無償化により、**子育て世帯の経済的負担の軽減**と**子育て環境の充実**を図ります。



R5.8月まで

0~2歳児  
第3子以降及び住民税非課税世帯  
**無償**

0~2歳児  
上記以外  
**有償**

3~5歳児  
**無償**



R5.9月から

0~5歳児  
**保育料完全無償**  
県内14市 **初**



「子育て世代に選ばれるまち やつしろ」を目指して

保育料無償化始まります

社会環境の変化により出産・育児への不安や負担感が大きくなっている現代において、子育てに優しい社会づくりが大切です。安心して子どもを産み育てられる社会を実現するため、妊娠・出産・子育て期まで切れ目のない「子育て支援の充実」や「子育て世帯の負担軽減」に積極的に取り組んでいます。

## 無償化の対象者

次の(1)~(3)全てに当てはまる子ども

- (1) 0歳~2歳の子ども
  - (2) 市内に住所を有し、居住している
  - (3) 市から「保育の必要性の認定」を受けている
- ※3~5歳児の子どもや一部の0~2歳児は、すでに無償化の対象となっています。

## 必要な手続きなど

1 保育所・認定こども園などを利用する人

- (1) すでに入所している人  
手続きは不要です。
- (2) これから入所する人  
入所を希望する前月の15日まで

に「保育所等入所申込書兼特定教育・保育給付認定申請書」と必要書類をこども未来課に提出してください。

※一部世帯の3歳以上の子どもは、副食費(おかず代)の負担があります。

2 認可外保育施設や企業主導型保育事業所などを利用する人

月額42,000円を上限に市が補助金を支給します。(保護者が一度負担する必要があります。)  
※幼稚園・認定こども園の預かり保育を利用する場合は16,300円が月額の上限となります。

### (1) 手続き

- 「保育の必要性の認定」を受けるための申請書を提出してください。(利用を開始する前月の20日まで)
- (2) 補助金の請求方法  
① 利用した施設などへ保育料などの支払い(保護者→施設)
- ② 利用した施設から、領収書など施設への支払いがわかるものを添えて、市に請求書を提出(保護者→市)
- ③ 請求書提出から、約1ヶ月後に口座へ支払い(市→保護者)

※補助対象経費は「保育料」のみです。給食費やその他経費(例・ピアノのレッスン料、英会話教室の費用)などは補助対象外です。

詳しくは  
こども未来課(☎338721)に  
お問い合わせください。

子育て世代に  
選ばれるまち  
やつしろを  
目指して

本市では、令和5年9月から、すべてのこどもの保育料を無償化します。子育て世代の経済的負担の軽減や仕事と子育ての両立を支援するための施策で、県内14市の中では初めての取り組みです。  
「子育て世代に選ばれるまち やつしろ」を目指して、さまざまな子育て支援を行っています。



# ライフステージ ごとの子育て支援

## 妊娠・出産

## 乳幼児

## 小学生

## 中学生

## 高校生

健診

### ●妊産婦健診

妊婦健診(14回)、妊婦歯科検診(1回)と産後の産婦健診(1回)の健診費用を助成

### ●乳幼児健診

4か月児健診・7か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診バースデー予防歯科(1歳児)・2歳児歯科健診

医療

### ●不妊治療費助成

上限5万円

人工授精等による不妊治療を受ける夫婦等に対し治療費の一部を助成



### ●こどもインフルエンザ予防接種費用助成事業 1,000円/回

生後6か月から就学前までの乳幼児に対し、予防接種1人2回、1回1,000円を助成

### ●こども医療費助成

0歳から18歳(高校3年生)までの医療費の自己負担額を全額助成全額助成※保険適用分のみ

支援

### ●出産祝い金

3~10万円

(第1子)3万円、(第2子)5万円、(第3子以降)10万円を支給 ※支給には要件があり、申請が必要

### ●保育料完全無償化

無料

令和5年9月より、0~5歳児に係る保育料を完全無償化 一部の世帯では、3歳以上児の副食費(おかず代)の負担あり

### ●出産・子育て応援給付金事業 各5万円

妊娠期から子育て期までの伴走型相談支援と、妊娠届出後に5万円、出産後の赤ちゃん訪問後に5万円給付

### ●児童手当

中学校卒業までの児童養育者に対して手当を支給

### ●就学援助

費用援助

経済的な理由で就学が困難な児童及び生徒の保護者に、義務教育就学に必要な費用を援助(援助費用)学用品費、新入学用品費、校外活動費、給食費、修学旅行費および医療費

### ●奨学資金貸付 月2~5万円

本人または保護者が八代市内に引き続き3年以上居住し、高校、大学等に進学または在学する人のうち、経済的理由により就学が困難な場合に奨学資金を貸付  
高校(国公立)20,000円以内/月  
(私立)30,000円以内/月  
大学等(国公立)45,000円以内/月  
(私立)50,000円以内/月

一時預かり等

### ●産後ケア事業

産婦で産後の心身の体調や育児に不安があり支援が必要な人へ、宿泊や訪問による専門職の産後ケアが利用できる  
※課税所得等により一部自己負担有



### ●ショートステイ・トワイライトステイ

保護者の疾病その他の理由により、家庭における養育が一時的に困難となった児童を、児童福祉施設等においてお預かりする

ショートステイ(1日) 2歳児未満:無料~5,000円 2歳児以上:無料~2,750円  
トワイライトステイ(休日8~17時) 無料~1,350円 (17~22時)無料~750円 ※料金は課税所得等による

### ●病児・病後児保育

病中又は病後回復期の子ども(0歳~小学生)を看護師・保育士が看護保育を行う

※料金は課税所得等による

### ●こどもプラザ/子育て支援センター 無料

親子で遊んだり、親子同士の交流、子育て講座などの開催や子育ての悩みなどの相談を行う

### ●放課後児童クラブ 月約5千円

放課後や長期休暇等に、小学生に生活・遊びの場を提供

### ●ファミリーサポートセンター

1時間600円

子どもの送迎や預かりなどの会員相互による援助活動を行う  
1時間 600円(土日祝 700円)



ひとり親支援

### ●児童扶養手当

ひとり親家庭の父母等に対して手当を支給

(児童1人)43,070円~10,160円/月 (児童2人目)10,170円~5,090円/月 加算  
(児童3人目以降)6,100円~3,050円/月 加算 ※所得制限限度額以上の場合は支給なし

月43,070円~10,160円/※児童1人の場合

### ●ひとり親家庭等の医療費助成

ひとり親家庭の父母等が支払った医療費の自己負担額のうち3分の2を助成(保険適用外の負担額を除く。)

※児童扶養手当と同じ所得制限限度額を超えた場合は対象外。



やっしろ 結婚・妊娠・出産・子育ての総合サイト

あったかねっと

八代市の結婚・子育てに関する情報をご案内します。結婚・出産前の方から成人になるまでのお役立ち子育て情報を紹介する八代市が提供するサイトです。

全額助成

### 八代市子育て支援拠点

八代市子育て支援拠点は、8か所あり、子育て親子が安心して楽しく遊べる場所です。子育ての悩みや相談情報の提供、子育てに関する講座を定期的に開催しています。

## こどもプラザわくわく

八代市沖町六番割3987-3

電話：307-140

FAX：307-141

一般社団法人こども・子育てあいねっと八代

代表理事 澤井美香さん



### 気軽に立ち寄れる第二の実家

平成19年からマックスバリュ2階で「こどもプラザすくすく」、平成26年からは、イオン八代店2階で「こどもプラザわくわく」を運営しています。

こどもプラザでは、子育て中の親の相談を受け情報提供を行ったり、遊びの場、交流の場を提供したりしています。妊娠中や産休・育休中の人の利用はもちろん、0〜18歳の子どもを持つ保護者なら誰でも相談ができます。現在は、月に約400人に



利用いただいています。

また、0歳の赤ちゃんを初めて育てている母親向けに、親子の絆を育むBPプログラムを行っています。赤ちゃんへの接し方や生活リズムの知識を学んだり語り合ったりすることで、多くの人が不安を感じながらも子育てしていることがわかり、少し気が楽になった、子どもがますます可愛くなった、という声をいただきます。

相談というより、わからないことや気になることなど、悩みになる前にスタッフに何でも気軽に話していただければと考えています。市外から転入し地域のことがわからない人には、支援情報やサービス（時間預かり）を紹介しています。

子育て専門相談員として母親の相談を受ける時には、大切な時間を共有し対等にお話を聞くことを大事にしています。こどもプラザは、子どもの笑い声や赤ちゃんの泣き声がこだまする癒やしの場です。今後も、いろいろな人が気軽に立ち寄れる第二の実家のような場所でありたいと思っています。

### 認定こども園

認定こども園は、幼稚園などの教育施設と保育園などの保育施設が一体となったもので、保育などの認定に問わず、全ての子どもが通ここのことができる施設です。

## ひので保育園

八代市三江湖町1427

電話：351-9101

FAX：34-5176

八代市南部子育て支援センター

電話：331-2393

### 園に関わるみんなが「笑顔いきいき」

ひので保育園では、子どもがやりたいと思う気持ちを大切に教育保育を行っています。保育者は、子どもが自分で伸びようとする力を大切に、「見たい」「聞きたい」「触りたい」など、その時に興味・関心を持つているものに気づき、適切な玩具や環境を整えることで自発的に活動し、感覚や興味・関心が広がっていくことを大切にしています。



ひので保育園

園長 小嶋 啓さん



また、秋祭りやどんどやなどの行事を地域にも開放したり、近くの高齢者施設のイベントに参加したり、散歩中にごみ拾いをしたりして、地域の人も積極的に関わるようにしています。

当園は敷地内に地域子育て支援拠点事業のひとつの八代市南部子育て支援センターを併設しており、未就園の親子が遊べる場や交流の場になっているほか、子育てに関する相談なども受け付けています。地域に開かれた園でありたいという思いで、「笑顔いきいき」をモットーに子どもや職員だけでなく、保護者や地域の人も園に関わる全ての人に笑顔で生き生きしてほしいという気持ちでこれからも教育・保育をしていきます。

地域の人が自由に園に来て交流できる場になり、子どもたちの明るい声があふれ、子どもからお年寄りまで元気でにぎやかな地域になるといいなと思います。

### 利用者の声

## こどもプラザわくわく

山本 恵美さん

細稀 ちゃん（1カ月）

私は大阪から里帰り出産して現在2子目です。1子目の時に、昼間祖母が出勤した時に1人で家にいるのが辛く、広報やつしで情報を得て通うようになりました。家にいたら思い詰まることもありましたが、ここに来たら気分転換になり、子どもも刺激を受けているんなことに興味関心を持つてくれます。



大野あかねさん

詩 ちゃん（1歳1カ月）

私の実家は熊本市内にありますが、子どもが生まれてからは八代で過ごしています。子どもの発育などが不安で、相談できるところはないかなと思いつて電話しました。今では息抜きに利用しています。通ううちにママ友ができてプライベートでも遊ぶようになり、子どもの同年代の友達もできて良かったです。次の子が生まれても、また一緒に通いたいです。



### 利用者の声

## ひので保育園

笹尾 愛里さん

桜玖 ちゃん（3歳）

葉夏 ちゃん（11カ月）

私は昭和町に住んでいて、子どもが4カ月くらいの頃に友達から誘われて、ひので保育園の南部子育て支援センターに通うようになりました。そこで園の雰囲気や園舎が気に入り、通っている子どもたちが楽しそうだったので、入園させることに決めました。子どもが「保育園楽しい」と言っているのが入園させて良かったです。



濱田 桃果さん

祈 ちゃん（2歳）

笑 伽 ちゃん（2カ月）

私はひので保育園の卒園生で、先生も知っている人がいて信用できるので入園させることにしました。保育料無償化は超ありがたいです。若いうちに結婚した人はお金がないので、保育料の分のお金を子どもの積み立てに回せたり、我慢させていたものを少し高価にしたり、外食に回せたりするので助かります。

